

福島のおゆき国会日誌

<ALPS 処理水 政治家が前面に立て>

15 日、東日本大震災復興特別委員会で質疑に立ちました。政府が来春の実施を目指している福島第一原発の ALPS 処理水の海洋放出に向けた地元との調整について、唯一の茨城県選出の委員として、県を代表する思いで政府と議論をいたしました。

まず、「常磐もの」というブランド名でわかるように、この周辺の海域は福島県も茨城県も一体となって水産業が営まれています。

茨城県の平潟漁港と福島県の勿来漁港は岩一つで隔てられているだけです。にもかかわらず、福島県だけが対象となっていて茨城県が対象となっていない水産関係の補助金がいくつもあります。

一つ一つの事業を国会で取り上げなければ対象拡大をしない水産庁は、あまりに不誠実な姿勢であると叱り、秋葉賢也復興大臣の政治的決断を求めたところ、前向きな答弁をいただきました。

ALPS 処理水排出の風評被害におののく現場の皆さんに納得していただくためには、官僚たちが通りいっぺんの説明をするだけでは何も動きません。大臣・副大臣・政務官といった政府にいる政治家が、逃げることなく現場とひざを交えて話すことが必要です。政治レベルでの対応を求めたところ、経済産業省の先輩で大阪府知事も務めた太田房江経産副大臣から、必ず茨城県と話をしますとの言質をいただきました。



<水戸市遺族会の皆さんと靖国神社>

17 日早朝に水戸を出発した水戸市遺族会の皆さんが靖国神社に参拝にいらっしやいましたので、ご挨拶をいたしました。浪人中にパラオ共和国のペリリュー島で行った遺骨収集のこと、春秋の例大祭にはいつもお参りしていることなどをお話いたしました。



<中核市市長会との勉強会>



永田町は来年度予算編成の大詰めを迎えて陳情の季節となっています。16 日に開かれた「中核市とともに地方分権を推進する国会議員の会」は、地元の高橋靖水戸市長が中核市長会の副会長を務めていることもあって、出席をいたしました。

政令指定都市に続く中核市は、地域の経済の中心であり、プロスポーツを抱えるなど文化的な面でも一つの求心力を持つ地方主権の主体となるべき自治体だと考えています。まだまだ権限の上でも制度の上でも改善の余地があり、中核市が元気になることが地方の活性化につながると確信しています。

<筑西市立上野小学校の皆さんが国会見学>



18 日、国会見学にお見えになられた筑西市立上野小学校 6 年生の皆さんにご挨拶をいたしました。国会の役割や選挙について説明しました。

臨時国会も残りわずかとなりましたが、国会見学を随時受け付けております。

<予算委員会質疑予定 NHK テレビ中継>

今後の国会日程の一部が決まり、来週の月曜日の本会議において、財務大臣からの財政演説とそれに対する質疑が行われることとなりました。つまり、補正予算案の審議が来週から始まります。順調にいけば、25 日の予算委員会で私は質疑に立ち、岸田文雄首相と補正予算案について議論を行う予定です。NHK の国会中継もあるかと思えます。着々と準備を進めておりますので、ぜひご期待ください。

